

## 1学期終業式（7月20日）

今年の梅雨は、梅雨入りが例年より8日遅く、梅雨明けが観測史上最も早く、14日間という最短の期間だったそうです。そして6月末という早い時期から全国各地で35度を超える猛暑日が連日観測されるなど異常気象となっています。一方で新型コロナウイルス感染症は、一端落ち着いたかと思われましたが、新たな変異株となって、感染力を強め、島根県でも過去最高の感染者数となっています。そうした中、感染症防止対策をとりつつ、マスクの着用は、熱中症の防止のため、外出時には、人との距離が確保できる場合は外すことを勧めています。夏本番を迎える今、これまで以上に体調管理には注意していく必要があります。体調には、十分気をつけていって欲しいと思います。

皆さんは、この1学期を振り返ってどうでしたでしょうか。年度当初に皆さんにはぜひ目標を持って精一杯努力して欲しいと話しました。「思うは招く」、「努力は最大の力である」と何度か話もしましたよね。立てた目標通り進んでいる人、思うように進んでいない人、中には明確な目標を立てなかった人、様々でしょうが、一旦立ち止まり、振り返り、リスタートを切るこのプロセスはとても重要です。この1学期を自分なりに振り返って自分を見つめ直してみてください。

私なりにこの1学期を振り返ってみると、生徒の皆さんの活躍を随所に見ることができたと思っています。先ほど表彰伝達を行いました。部活動や各系列に関係した県大会での活躍、素晴らしいと思います。また全国総文祭やビジネス競技全国大会出場に出場する皆さんのさらなる活躍を期待しています。

気になることとして、皆さんの中には、友人関係の悩みを抱えている人が少なからずいるのではないのでしょうか。全国的にみると、悩みを抱えている若者は全体的に増加傾向にあり、特に小・中学生が多いです。しかし、高校生では減少し、そして、高校を卒業し進学や就職するようになるとほとんどいなくなるというデータがあります。この現状をある心理学者はこう分析しています。

小学生あるいは中学生の頃の間関係は「人と同じ」ということを基盤に築かれていくそうです。するとある人に同じでないところを見つけると簡単に排除してしまう。そして、誰かひとりが排除されると、自分が排除されるのが怖くて、それ以外の人たちは結束を強め、より一層、「人と同じでなくては」という意識が高まっていくことになります。

しかし、高校生になると「みんなと同じ」ということに息苦しさをを感じるようになり、他者を排除したところで何のメリットもないということを知っていくようになり、大学等への進学や社会人になると、他者と自分は違うということをお互いに理解し、それで良いと思ひ、その違いをぶつけていくことで自分を成長させていくようになるからと分析しています。

良い友人関係は、互いに理解しようとするのが大切だと思います。真の友人というのは、自分の意見をきちんと伝えること、そして伝えられた意見に対して相手に思いやりを持ったアドバイスができるということだと思います。

友人関係で大切にしてもらいたいことは、「信頼すること」「許すこと」そして「感謝すること」です。人は誰もが傷つきやすいもので、良いところ、悪いところを持っています。しかし、友人関係がうまくいけば、傷つくことに対する恐れがなくなっていきます。もっと友だちを受け入れ、信頼してください。

また、友人関係を円滑にするためには、ときには「許す」ことも必要です。なにかトラブルがあったとき、片方が謝っても、もう片方が許さなければ、その衝突は収まらないですね。いい関係を続けるためには、お互いのミスを許し、悪いところがあれば素直に謝ることが大切です。

そして、友だちは、感謝の気持ちの大切さも教えてくれます。たとえ些細なことであっても、相手がしてくれたことに対しては、声に出して感謝の気持ちを伝えることが大切です。

私は、邇摩高校のすべての生徒が安心して登校し、自分の目標に向けていきいきと活動してくれることを願っています。

明日からの夏休み、どのように過ごすかが、2学期からの生活に大きく影響してきます。3年生は、自分の進路を決める大切な時期ですから進路実現に向け精一杯頑張ってください。2年生は、部活動での新チームでのリーダーとしてチームをまとめてください。1年生は、高校生活にも慣れてきたと思いますので、これから何を頑張りたいか、打ち込めるものを見つけてください。夏休みをぜひ自分の成長のために計画的に活用してください。8月29日の2学期の始業式には、成長した皆さんの姿が見られることを期待して終業式でのあいさつとします。